

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2019/08/19 ～2019/09/19)

1. 勉学の状況

受講している授業は、環境問題と政策について、樹木について、パブリックスペースとパブリックアート、園芸科学です。ディスカッションやグループで行う課題、CAPSTONE というケーススタディといったように、課題の種類や取り組み方が豊かで、様々な手法でテーマについて追求しています。授業スケジュールや課題、テストなどの詳細は授業の最初に教員から提示されるため、予習や課題の計画を立てやすく、時間を有効に使うことができます。授業中の発言も、自由に考え自由に行える雰囲気などの授業においてもあり、拙い英語でも自分の意見をできるだけ伝えることができます。教科書を使う授業は、私が受講している授業以外でもほとんどなく、実際の事例や、論文や新聞、団体や事業主へのインタビューなどが教材になり、実際にやるとしたらどうすればいいのか？ どう考えればいいのか？を意識しながら学習しています。教員も学生と共に考えながら授業を進めていく方が多く、同じ目線で考えつつ、教員の知識が加わったフィードバックを受けていくというのが知識や経験を得る上で非常に有効的だと感じています。

2. 生活の状況

住んでいる寮は非常に快適で、私を含め 4 人で生活しています。ルームメイト同士お互いを尊

重して、心地よく住めるように努力しているため、息苦しいと感じることもありません。皆家で課題やテストを行うことが多いため、大変な時はお互いに励まし合っています。私自身はミールプランという学食のプランに加入しているため家で料理することはあまりありませんが、ルームメイトは節約のために自炊をしています。2度ほど熱を出したり風邪を引いたりしましたが、そのほかは健康的に生活しています。日本でいうサークルにも参加しており、2週間に1度のミーティングに参加して親交を深めています。週末や祝日にはルームメイトの実家に一緒に行ったり、サークルのメンバーとダウンタウンに行ったり、少し遠出をして隣の州に遊びに行ったりしています。車がないため基本的にバスを使っていますが、シンシナティはバスのシステムがわりときちんちんと管理されているため、特に困ることはありません。バスが使えないときはタクシーを使うこともあります。個人的に、自分の母国である韓国人の同学年の友達が欲しかったのですが、仲の良い修士の韓国人の友達ができただけで、とても嬉しいです。基本的にホームシックなどは感じておらず、快適な日々を過ごしています。

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2019/9/20 ～2019/12/20)

1. 勉学の状況

授業が始まってから1ヶ月が経ち、そろそろ慣れてきた頃に中間試験をむかえました。課題やテストについては最初からシラバスに記載されているのですが、変更点やどこを勉強するといったことは授業中に口頭で言われるため、その内容をしっかりと把握することに気を使っていました。その後、千葉大学でいうムードルに変更点をお知らせとして記載してくれていたのですが、特に問題はありませんでした。樹木について学ぶ授業は、夜6時からの授業で、冬になるにつれて日がかなり短くなっていったため、キャンパスを回って樹木を勉強するというそれまでの授業の進め方ではなく、教室で樹木とランドスケープについて先生が話すというやり方になりました。それでも、他のところから樹木のサンプルを持ってきてくれたり、生徒たちもトピックごとに樹木のプレゼンを行ったりと非常に有意義で楽しかったです。2回ほど、授業には関係なく、その授業の先生が樹木紹介ツアーを近くのガーデンで開催し、2回とも参加しました。実際に樹木がどのように活用され管理されているのかを知ることができたのでとても面白かったです。強制参加でないのに、授業を受けている生徒のほとんどが参加していたのも、学習することに対するモチベーションを上げてくれました。最終試験前はThanks givingのホリデーシーズンや個人的な旅行が予定として詰まっていたため、事前にできる課題をできるだけ片付けて、最終試験や最終プロジェクトに集中できる環境を作りました。テストは1つで、その他の授業ではプロジェクトや課題が課されました。自分が選んだ都市における環境計画の調査レポート(10ページほど、私はトロントを選びました)や、常緑樹を用途や特徴別に分類してパンフレットとしてまとめるものや、キャンパス近くに実際にある小さなプラザを、アート要素を取り入れながらリノベーションするというプロジェクトが具体的な課題の内容でした。最終試験期間中は図書館に通い、ルームメイトと励まし合いながら勉強して過ごしました。全ての成績はまだ出揃っていませんが、出ている限りでは個人的に満足のいく成績だったので素直に嬉しかったです。授業中に、思う通りに発言できなかつたり、そもそも発言する勇気が出せなかつたり、グループで行うプロジェクトでは他のメンバーに多くのことを任せてしまって自分の力不足に申し訳なく思ったり、悔しい思いをしたりと、まだまだ理想には程遠いので、春学期には秋学期でした悔しい思いを忘れずに、努力し続けたいと思います。

2. 生活の状況

一時期、日本食、特に魚料理がものすごく恋しくなりましたが、それ以外は基本的に食生活にはすっかり慣れました。学食で使えるプランを私は持っていたので、基本的には食事は学食で済ませていました。友人と週2回学校にあるジムで運動をしたり、ルームメイトと部屋で筋トレをしたりと日本にいたときよりも運動をたくさんするようになりました。ストレス解消になったので、

運動をする習慣を身に付けられてよかったと思います。2人のルームメイトが、性格の不一致で一悶着あり、板挟みになって少し大変でしたが、1ヶ月間ある冬休みを経て、春学期には改善されるといいなと思います。ホリデーシーズンには再びルームメイトの実家にお邪魔して過ごしたり、ルームメイトの友達と仲良くなったりしてとても楽しかったです。ひよんなことから知り合った、オハイオ州立大学に通う日本人とアメリカ人のハーフの子と友達になり、その子のパフォーマンスを見に行ったり、ニューヨークの大学に通う日本人の子と会ったりと、面白い縁で出会った人と楽しい時間を過ごしました。できることは全部やってみようという精神がこちらにきてから少しずつ芽生えてきていて、新しい人と知り合ったり、自分から連絡をとってみたいと、今まで自分があまりしてこなかったことができるようになってきたように感じています。

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2019/12/21 ～2020/4/30)

1. 勉学の状況

冬休みが終わり、1月中旬から春学期が始まりました。春学期は、単位互換や将来のためを考えたり、せっかく留学に来たから変わった授業を受けたいと思ったりして、授業選びに苦戦しました。授業変更ができる期間のギリギリまで悩んでやっと決めることができました。春学期は、秋学期に受けた2つの授業の続きと、単位互換するための生物統計学の授業と、モダンダンスの授業を受講しました。モダンダンス以外の授業は、4年生や大学院生向けの授業であったため正直に言って難しかったです。1つの授業はセミナーだったため、今考えると日本でいうゼミのような授業だったと思うため、チャレンジな選択だったと思います。この授業では、発展途上国における持続可能な開発について議論し、リサーチをしました。意見を述べたり、プレゼンをしたりする回数が多く、非常に苦戦しました。グループで発表する際に、自分の意見を述べる機会を逃してしまい、何も喋らずに終わってしまったということもありました。授業内での発言を増やしたり、ディスカッションですらすらと意見を述べることは一朝一夕でできないため、事前学習やリサーチにより力を入れたり、教授に質問しにいくなど、他の面で努力をしました。3月に入り、どの授業でも期末課題に向けて動き始めた頃に、コロナウイルスの影響で全授業がオンライン授業になりました。結果的に日本に途中帰国した後も、オンラインで継続して受講しました。3月中旬に元々あった1週間の春休みが2週間に延長されましたが、学期終了の日付は変更されませんでした。時差のためセミナーの授業が午前3時～となり、教授に相談したところ、授業は最終課題の各個人のリサーチに対応していく段階に入るため、リアルタイムでの参加はしなくていいことになりました。その代わりに、教授と一対一での通話やメールによって対応していただく形になりました。モダンダンスの授業は、リアルタイムの授業や録画による授業ではなく、10個の追加課題が代わりに課されました。オンライン授業の行い方は授業や教授によって様々で、学部によっても違いがあったようです。テストに関しては、元々大学のウェブサイト上(Moodleのような)でテストを行う授業は以前にもあったため違和感はありませんでした。変わった状況となり初めは混乱しましたが、先生方ができるだけ質を落とさないよう工夫してオンライン授業を行ってくださったおかげで、最後まで刺激的な授業を受けることができました。

2. 生活の状況

1ヶ月間の冬休みの間、ルームメイトは全員実家に帰省し、しばしの1人暮らしの状況になりました。冬休みの間は、フロリダ州のマイアミ、サンフランシスコ、トロントに旅行に行きました。マイアミは現地の友人と行き、サンフランシスコとトロントは家族で行きました。半年ぶりに家族と会えたこともあり、非常に楽しい旅行でした。春学期は、寝室を共有しているルームメイトと時間割が大きく異なったことで就寝時間も異なるようになりました。それもあって、秋学期と比べて生活ルーティーンをつくるのに時間がかかりました。また、秋学期にとっていたミールプランを春学期はやめたので、自炊生活が始まりました。友人と毎週木曜日にスーパーに行くようになったり、食事をお互いに持ち寄ったりするようになりました。友人の紹介で、新たなサークルに参加したり、サークルを通して学生のカンファレンスに参加したりと、活動するコミュニティが増えました。家でただだらしたいと思う日もありましたが、積極的に外に出て活動したことで、行動範囲も広がり、より多くの素敵な友人に出会えたので、参加してよかったと心から思います。コロナウイルス感染者が出る前に、ルームメイト達とダウンタウンに行って食事をしたり、買い物をしたり、写真を撮ったりして良い思い出をつくることができたので、あの時計画して出掛けられて本当に良かったなと思います。コロナウイルスの影響で急遽帰国を決めてから帰国日まで数日しかありませんでしたが、会いたい友人や感謝を伝えたい人々に会って濃い時間を過ごすことができました。空港まで送迎してくれたり、連絡をくれたりと、最後まで多くの人の支えや優しさを感じました。